

ボタンは function を起動するのみなので<form>括り不要.

18-1 「タッチ選択」が有効です。

また、web 頁に出力するなら「表」も活用したいものです。

そこで今回は、外部ファイルの配列に基づいて自動作成したプルダウンメニュー※から (クリックで) 「タッチ選択」した変数に関する処理結果を表と図の両方で新頁に出力する script を作成します。

※従って script は汎用(例は「関連情報:」より)。

18-2 資料 40 の script には..

<form></form>がありません。その理由は「読み込んだ配列に応じたメニューの項目設定」という汎用性の実現のために<form>を script で現頁に出力しているからです※。

※値を参照しない「ボタン」は<form>括り不要。

18-3 プルダウンメニューの項目は..

<select>括り内の<option>+変数名として提示され、選択された項目の番号は selectedIndex で得られます。

新頁の諸指定、各階級の件数カウント、作図関係の処理などは(最大値の把握を初期値=0 と Math.max で行っている以外) 従来のそれらと同様です。

18-4 表の出力には..

html (web 頁記述マーカー) に関する知識が少し必要ですが、
が水平線、border が枠線の太さ、<table></table>・<tr></tr>・<td></td>が順に表全体・一行・一セルの括り、といった程度です (<pre>: 整形済み、”\n””
”は既出)。

逆に、<tr align=center>で“中央揃え”を指定しておけば、半角空白の挿入による「桁揃え」処理をしなくて済みます。

```

<title>タッチ選択と表出力</title><!-- saved from url=(0008)about: internet -->
<pre>1.▼の一覧から選択→2.<input type="button" value="OK" onClick="frq0">
</script>
<script>
列数=v[0].length;件数=v.length-1;桁=1000
document.write("<form><select>")
for (i=0;i<列数-1;i++) {document.write("<option>"+v[0][i])}
document.write("</select></form>")
function frq0 {
番=document.forms[0].elements[0].selectedIndex
新=window.open("", "", "width=480,height=480,scrollbars=yes,resizable=yes")
欠=0;和=0;ss=0;累=0;r0="<title>"+v[0][番]+"の分布</title>"
新.document.write(r0+"<pre>No. "+(番+1)+" "+v[0][番]+"<br>")
大=0;for (i=1;i<=件数;i++) {if (null!=v[i][番])大=Math.max(大,v[i][番])}
級=new Array ();for (i=0;i<=大;i++)級[i]=0
for (i=1;i<=件数;i++) {
x=v[i][番];if (null==x)欠++;else 級[x]++;和=和+x;ss=ss+x*x
}
r1="<table border=1><tr align='center'><td>値</td><td>件数</td><td>%</td><td>累積</td></tr>";有=件数-欠
for (i=大;0<=i;i--) {if (0==級[i])continue
p=Math.round(10000*級[i]/有)/100
累=累+級[i];cp=Math.round(10000*累/有)/100
r2="<tr align='center'><td>"+i+"</td><td>"+級[i]+"</td>"
新.document.write(r2+"<td>"+p+"</td><td>"+cp+"</td></tr>")
}
r3="<tr align='center'><td>有効</td><td>"+有+"</td>"
新.document.write(r3+"<td>"+cp+"</td></tr></pre>")
r4="欠測="+欠+" 平均="+Math.round(桁*和/有)/桁+" 標本標準偏差="
新.document.write(r4+Math.round(桁*(Math.sqrt(ss/有-(和/有)*(和/有))))/桁)
目=0 10 20 30 40 50%
軸=" +-----+-----+-----+-----+-----+
新.document.write("<br>"+目+軸)
for (i=大;0<=i;i--) {if (0==級[i])continue
白="";for (j=1;j<=(5-(i+"")).length;j++)白=白+" "
星="";for (k=1;k<=(Math.round(100*級[i]/有));k++)星=星+"*"
新.document.write(白+i+"."+星+"\n")
}
}
新.document.write(軸+目)
}
</script>

```

v[0]の要素数は変数の個数と、vの要素数-1は件数と一致 (-1はv[0]つまり変数名の行の除外)。

配列の添え字0~n-1を1~nに修正して表示。

max は大きい方、min は小さい方。

*の数についてはp(%)とは異なり整数に四捨五入。

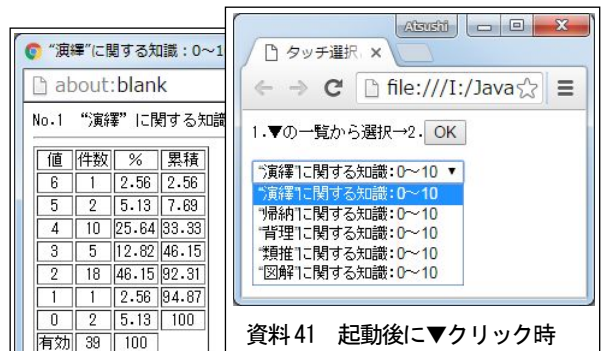
資料 40 配列 data をタッチ選択して表と図を新頁に出力する JavaScript の例

- ②7)メニューは<form><select>内に「<option>項目」として書き並べ 選択番号は document.forms[n].elements[n].selectedIndex で取得。
- ②8)メニューの自動作成は現頁への document.write() で可能。
- ②9)頁出力には html に関する若干の知識※が必要。
- ※
=horizontal rule, <tr>=table raw, <td>=" data,
=break, etc.

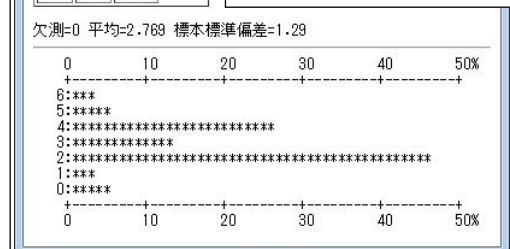
関連情報 :

大学生における思考方略に関する知識と説明技能の現状及び 方略指導の知識・技能向上効果に関する研究 (加藤 2014)

<http://mmua.html.xdomain.jp/kato/study/2013strategies.pdf>



資料 41 起動後に▼クリック時



資料 42 [OK]クリック後の実行結果@Chrome